

## 平成26年度おもてなしのやまなし知事表彰 被表彰者

### 県民表彰(個人の部)

番号	市町村名	個人名	活動の状況
1	山梨市	大村 勝也 (おおむら かつや)	親子2代で70年近くにわたり、牧丘の自宅にミツバツツジ・三尺フジを育成し、見ごろの時期になると県内外から観光バスのお客さんなど、大勢の方が見学に見えられる。無料で開放するほか、自主的にパンフレットの配布や観光案内、無償でお茶の提供などのおもてなしを行っている。
2	山中湖村	坂本 賢祐 (さかもと けんすけ)	NHKラジオ第1「ラジオ深夜便(日本列島くらしのたより)」の山梨県紹介リポーターに抜擢され、山中湖村だけでなく、県内で取材、体験した情報もラジオを通して紹介するなど宣伝塔として活躍。また、クマガイ草のネイチャーガイド、うづのみ芸術祭の開催、さらに、山中まちづくり委員として山中湖の名所に竹灯籠を灯すおもてなしをするなど持ち前のエネルギーを活かした観光振興に取り組む。

### 県民表彰(団体の部)

番号	市町村名	団体名(代表者等)	活動の状況
1	全域	平成26年度全国高等学校総合体育大会山梨県生徒実践委員会 (委員長 県立白根高等学校3年 若林克弥)	今夏の「平成26年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)」では、全国から選手・指導者約11,000人、観客延べ約160,000人が来県。県内すべての高校及び特別支援学校の代表生徒で「山梨県生徒実践委員会」を設立、組織内に「おもてなし分科会」を設置し、生徒による観光案内や選手・監督への手づくり記念品の贈呈など、多くの来訪者を温かくお迎えするための活動を積極的に展開した。
2	甲府市	甲府市立北東中学校 (校長 青柳達也)	甲府駅北口の清掃活動を平成4年度より20年以上継続して実施。生徒会(福祉厚生委員)主催の自主的な活動であり、在籍生徒の約半数が清掃用具を持参し清掃を行っている。自分たちの地域を美しくするという意識だけでなく、甲府駅を利用する方々に気持ちよく使っていただきたいという「おもてなし」の気持ちを育む機会となっている。また、保護者や地域の方々と連携しており、地域に根ざしたボランティア教育が推進されている。
3	甲府市	山梨県立大学国際政策学部吉田ゼミ (吉田均)	NHK連続テレビ小説「花子とアン」に関連した展示パネルの作成や観光スポットのプロモーションビデオの作成協力、SNS(フェイスブック)を活用した情報発信及び閲覧者との交流、関連商品(創作料理)の開発、フットパスの開催など、多彩な取り組みを行い、山梨県のおもてなしのイメージアップに貢献した。
4	富士吉田市	御山(おやま)倶楽部 (代表 田辺多重子)	2008年の発足以降、御師外川家住宅の「お焚き上げ」の実施、ヤーナ川の清掃活動、イス型案内看板の設置、多言語による御師の家紹介パネルの設置など富士山世界文化遺産の中核ゾーンである富士吉田市上吉田地区において、地元住民目線で様々なまちづくり活動に取り組む。

5	山梨市	山梨市立加納岩小学校 (校長 原喜雄)	県内小中学校で最初の「おもてなし宣言」を表明し、「加納岩小のおもてなし宣言」を掲げている。気持ちよく迎える挨拶、環境美化、地域の伝統文化をキーワードに、地域を学び、地域を発信することから身近な環境を見つめ直し、改善していこうとする意識だけでなく、他の地域の方々とのおふれあいも大切にしようとする気持ちを育む機会となっている。
6	韮崎市	白鳳会 (会長 秋山泉)	大正13年の創立以来、90年の長きにわたり、南アルプスや茅ヶ岳などの山々を中心とした自然保護活動や安全登山指導、山岳遭難救助、登山道整備に取り組み、県内山岳会のリーダー的存在として、率先して自然環境の保護や観光振興等に尽力。また、韮崎市が行う深田祭・トレッキングツアー等においても、積極的に参加・協力している。
7	富士川町	県立増穂商業高等学校 (校長 若林毅文)	地域活性化をコンセプトに、地元商工会と連携しながら富士川町の特産品である「ゆず」「ラ・フランス」を原材料とした数々の商品開発に取り組み、地元のイベントをはじめ県内の様々なイベントや、道の駅などの特産物販売所にて販売活動を行っている。この活動内容は、地元住民はもとより、富士川町を訪れる県内外の多くの人々から評価され、地域活性化に寄与している。
8	富士河口湖町	県立富士河口湖高等学校 (校長 小石川正文)	社会科学部では、富士北麓地域の文化・歴史について、「地域に根ざした文化・歴史」をテーマに高いレベルで研究・発表し、富士山を世界に発信する礎を築いている。また、英会話部は、夏休みなどに河口湖駅や河口湖周辺で、自らの英会話力の向上を目的に外国人観光客に対する英語による声かけを行っている。これは時には道案内や簡単な観光ガイドにもつながっている。

### 事業者表彰

番号	団体名(代表者等)	活動の状況
1	大月市観光案内所 (大月市観光協会会長 天野太文)	市内を訪れる登山客・観光客に対し、手作りのランチマップや登山マップ、英字での富士山ビューポイントマップなどによる案内の他、首都圏からの玄関口として、市内のみならず県全域の観光PRを実施。また、タブレット端末による案内の実施や折り鶴の配布など、外国人観光客に対する積極的なおもてなしを実施
2	富士急山梨ハイヤー株式会社 (代表取締役社長 三浦政秀)	早くから観光タクシーを取り入れ、(公社)やまなし観光推進機構及び県タクシー協会が認定したおもてなしタクシードライバーに18名(約30%)が登録。会社独自で観光ドライバー認定制度を定め、「おもてなしタクシードライバー」に認定され、「富士山検定」に合格し、一定の条件をクリアした者を観光ドライバーとして認定(5名)している。全従業員が「おもてなし宣言」をするなど、他の運転手も山梨のファンづくりに積極的に取り組んでいる。

記載順は県民表彰は市町村の県勢順、事業者表彰は五十音順